

マネジメントデザイン論Ⅰ アンケート⑧130607 <質問・感想など>

図解の授業で文章をやるとは思いませんでした。文章の接続詞は図解という矢印のようなものだった。これは合ってますか？

文章伝達が図解で役に立つとは思いませんでした。平行して勉強した方がいいのでしょうか？

ゼミでも図解を教えているのですか？授業と違って何か特別なことをしているのですか？

樋口先生の続きなので、今日はとても文を理解するいい日になった。

図解の矢印と接続詞は関係ありそう。幸福になる方法なんて久々にまじめに聞きました。

先生の図解が分かりやすいのもあり、文章にしやすかった。

周りがしゃべっている。静かな環境作りをしてほしい。出席重視だから出席する。必ずうるさくなる。この流れを打開するためには、結果重視にしてほしい。

人の図から文章に起こそうとすると大変難しい。

日本語表現法の後だから、図解がもっと好きになります。

図を文にする方が自分は得意だった。

今日は文章にするということで一味違う体験ができた。

何も無い所から文章を書くのは大変だが、一度キーワードをまとめ、図にしてから文章を書くとき書きやすくまとめやすくなる。

いとも簡単に文章を書くことができる。この体験は、私にとって大きな収穫となり、これからの人生に活用できると感じた。実に有意義な講義内容であった。

図解→文章は難しかったが、楽しくなってきた。

難しいかなと思ったが、スラスラと書くことができた。接続詞の使い分けも、やっているうちに慣れ、問題なく使えた。

文章→図解、図解→文章 両方できるようになれば、図解を使いこなすことができるようになるのではないと思った。

しっかりとした文章にさせるための肉付けは思いのほか大変だった。しかし確実に力がついたと思うので、この作業もしっかりとできるようにしたい。

どうしたら幸福になれるか考えることで幸福になった気がした。

文章をまとめることが難しくなかった。楽しかった。

文章から図解(要約)よりも、図解から文章(フィードバック)の方が難しかった。

図から文章は、どう表現してよいか分からなかった。

文章にするためには図解をしっかりと理解しなければならないと思った。

図解の文章化は、自分自身の考察が大切であると分かった。

図解や文章を作る上で、接続語が重要。

関係性の部分が、文章に書き出す際に接続詞と結びつき、以前よりも論理的でスムーズに書き進められた。

図解をひもとき、文章化することで、長い論文を作成できることを知った。

レポートを書くとき内容を図解してみようと思った。

まず図解にして、ある程度書きたい内容を把握してから書きたいと思う。

マルなどで囲われたキーワードを分解し文を作るということは多くの場で使えると感じた。

図解を書いてから文章にすることが重要だと感じた。接続語を上手く使うことで論理的に書くことができると感じた。

いつもと勝手が違って難しかった。

図の理解から、文章にできれば、プレゼンテーションなどにも文章として出せる。

レポートを書くときに役立つと学んだ。大事なところを抜き出し、それをマルで囲み、大切な所だと示し、それが大切だということを証明し、そのことについて書いていけば良いのだ。

図解から文章にすること。また学ぶことが増えた。

図解→文章楽しかった。

文章を書く方が楽しかったのは頭の中にイメージできたからだろう。文と図、両方の知識が必要だ。

ゼミで図解を強みにしていきたい。

すでに図でまとまっているので、まとまった文章が書ける。

文章も図解も書きやすくなったと思った。

言葉をたくさん知っていないといけないと思った。

まず図を書いて文章にすればまとまった文章が書けるようになる。

図解を読み解くは楽しく感じた。幸福を分解するのは非常に奥が深い。

文章を書くとき、整理してから書けるようになるので、図解文章法を使いこなせるようになりたい。

図解と文章は繋がっていると気づいた。

小論文書くときに役立ちそう。

文章にするのは意外と楽しかった。

図解と文章を組み合わせで書いた時より、理解が深まると思った。

マネジメントデザイン論Ⅰ アンケート⑧130607 <感想など>

図解には、広がりや縮まりの2種類があることを知った。

講義が進むにつれて内容が難しくなっているのが分かる。しかしそれと同時に、図解への理解も深まっているのが分かってきた。

私も先生のように、話を図でメモをとれるようになってみたいと思いました。

枝野さんの講演を聞いたが、そのときに図解を活用してみた。

図解と文章、両方できれば将来にものすごく役に立つと思いました。

図を書いた後に文にしてみると、色々な経験を思い出すことができて、「自分自身が何を考えているか」そして「何をしていきたいか」が明確にわかりとてもおもしろかったです。ぜひ就活でいかしていきたいです。

図解の発想は企画やプレゼンに応用できると思った。

論理的な事というのは、基本的に明確であって分かりやすく展開していくものだったと思った。

図を文章にすることは非常に頭をフルに使うことが必須となり、良い成長の場となった。

今日は非常に新鮮だった。図解を文章にする上で、「接続詞」が重要となることを知った。今回のこの図解文章法は、レポートにも活用していきたい。まず図解を書いてみようと思う。今日は学生が私語をしていて、受講態度が良くなかったと思う。

図を文にするのをやってみて、改めて、図の分かりやすさと有効さを実感した。やはりどちらもワードを選ぶ能力が必要だ。

人が描いた図解を読み取るのは難しい。

授業が楽しくなってきた。

重要なところをPick up しやすいので抜け漏れが無くなると感じました。

知らない言葉を理解して図解にすることは難しかった。

考え方によっては、様々な文章が書けると思った。

今回の図から文章をおこす作業は、すらすらと進んだ。文章より図の方が伝わるということだろう。

文を書く時、図で最初に内容をまとめると、こんなに書きやすくなるとは思わなかった。

樋口先生の授業で今日やった方法を試してみたいと思った。今回は、スラスラと書けているような気がした。

先生のアドバイスで、書いていた文の量が多くなり驚いた。まだ改善できそうだった。

文章を書くとき、図というクッションを入れる。これを少し感じることはできたのではないと思う。

図解と違うことをしたので新鮮でした。文章力向上にもつながりました。

事前にワードを抜き出している分、とても簡単に文を構成できました。新鮮で面白い講義でした。図解は頭の中の地図だと思いました。

図解をできるようになれば同時に文章が書けるようになるという発見ができた。図と文章は遠いようで近い存在だと思った。

思ったよりさらさら書けた。具体的に書いてみると言われ、少し考えさせられた。

これからの目標として、自分についてもっと図解に表せていければ良いと思う。

図解にしてから文にすると、頭の中に考えていることがよりまとまっているので、文にしやすい。

図解から文章にするのを学びました。これを身に付ければ、文章から図に変えるのも今よりも簡単になると感じました。

文章に表していくと、自然と表現を広げることができたと感じた。

文章を図解に、図解を文章にをやってきたが、何が書かれているのか、その中でどの部分が重要なのかを見つける能力が両方必要ということを改めて理解した。また、自分の意見、経験を取り入れ、接続詞をしっかりと使い文にすることが重要だと理解した。

思っていたより早くできた。図解が上手くできると文章がうまくなることが分かりました。文章の核をとらえている図が書けるようになりたいです。

図解を文章にすることによって、何が大切であるかが分かった。

図解を文章にすることで、その課題の構成を考えたりすることができた。接続詞をうまくつなげて論理化することができた。

図でポイントが押さえられているため、文章の大筋の組み立てはし易かった。とても良い授業でした。

文章で論ずるときに大切なのは接続詞なんだと理解できた。文章と文章をつなげることで全体の流れが決まるからです。自分が作った文章を図にしてみたいと思いました。

私は文章書くのが嫌いじゃないんだなと思った。

図も自分でまとめていたら、書きやすかったかもしれない。

前回までと逆をすることがとても新鮮だった。

図解にしてまとめてから文章にする方が簡単だなと感じた。図解にするとテーマと順序がはっきりしているため文章が書きやすかった。